

知ってとくとく くりわな捕獲のスケジューリング手法 「なつやまメソッド」

はじめに

2022年の全国のシカによる農業被害額は約65億円と毎年増加しており、愛知県でも約5,500万円と増加しています。これは、シカの生息域拡大が原因と考えられています。

また、銃猟の狩猟者は減少していますが、わな免許所有者は増えており、狩猟（捕獲）に興味はあるものの、実際に捕獲まで至っていない人が多いようです。

そこで、週末わな猟を可能とする勤め人でも捕獲できるスケジューリング手法「なつやまメソッド」を紹介します。

この手法は、中山間に居住する農業者やサラリーマンに、最大限効果を発揮します。これにより、狩猟（捕獲）の裾野が広がり、個体数減、農業被害減に寄与されることを願います。



1 「なつやま※メソッド」とは

※実証地の地名に由来して命名しました。

「なつやまメソッド」とは、
毎日捕獲活動に従事できない人向けの
くりわなによる捕獲スケジューリング手法である。

- 捕獲する日にちを決める。
- エサで誘引してほぼ確実に捕獲する。
- くりわなで野生獣（主にニホンジカ）を捕獲する。

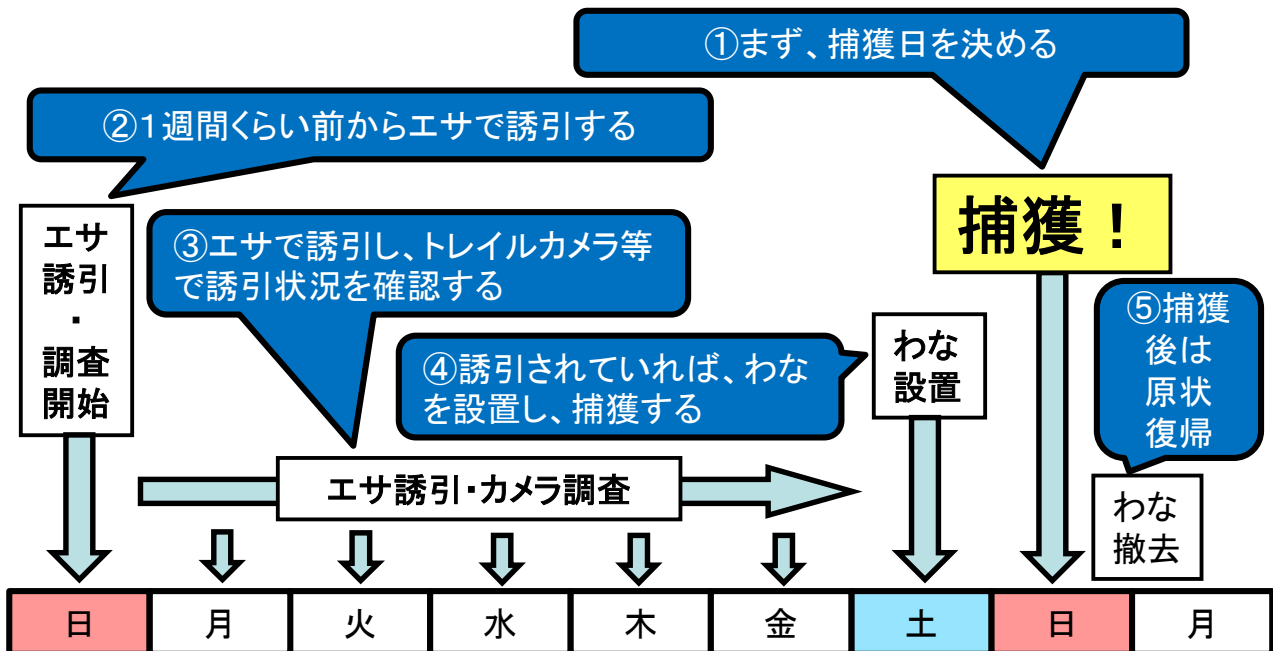
2 一般的なくりわなによる捕獲

- 達観した眼でけもの道を見つけ、獣にバレないようにわなを仕掛ける。
- 設置したすべてのわなを、毎日見回りする。
- いつ捕獲されるか分からず、捕獲できたら急遽半日作業を要する。

と、一般的なくりわなでの捕獲は熟練した技術が必要で、捕獲までのハードルが高いですが、ベテラン猟師でなくても捕獲できるようにと考案された手法が「なつやまメソッド」です。

3 「なつやまメソッド」のスケジュールイメージ

捕獲日を休日に合わせるよう、以下のとおりにスケジュールを組みます。捕獲日を決めることは、勤め人にとってはメリットになります。



4 「なつやまメソッド」の考え方

(1) くくりわなを設置しやすい、捕獲場所を決める。

- ① 次の条件が揃った場所の候補を複数か所挙げる
 - ・ 捕獲したい獣の痕跡（足跡、ふん、けもの道等）があること。
 - ・ 侵入防止柵が設置され、誘引による農作物被害拡大の心配がないこと。
 - ・ 捕獲場所へのアクセスが良く、安全に止め刺しできること。
- ② 捕獲したい場所の、地区・土地管理者の合意を得る
 - ・ 中山間の居住者に協力を得られると、非常にやりやすい。

(2) エサによる誘引状況を、トレイルカメラ等で調査

- ① トレイルカメラを設置し、誘引状況を動画で確認



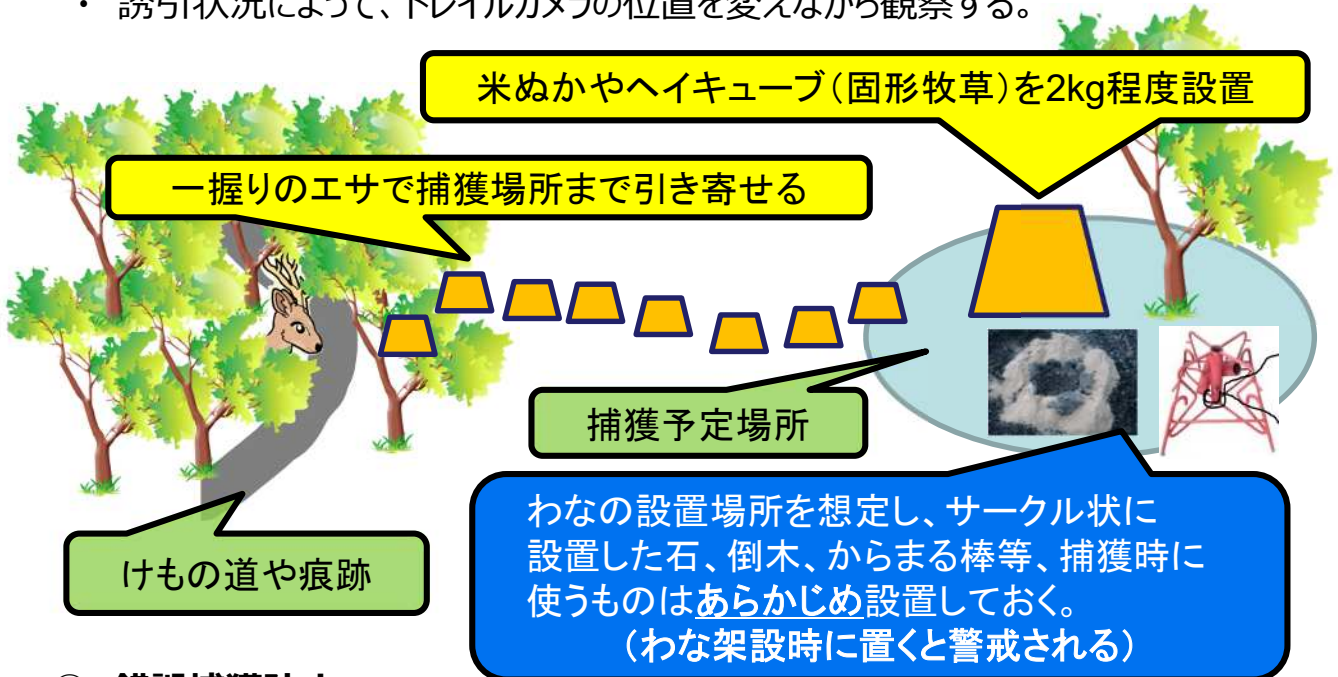
エサによる誘引状況を自動撮影で観察



シカが誘引されていること確認
(来る方向、足を置く位置)

② エサによる捕獲場所への誘引方法

- ・ 捕獲方法と捕獲場所を決めて、引き寄せるようにエサを置いて誘引する。
- ・ エサの嗜好には地域性があるので、地域に合ったエサを使用する。
- ・ 誘引状況によって、トレイルカメラの位置を変えながら観察する。



③ 錯誤捕獲防止

- ・ ニホンカモシカやツキノワグマがカメラで確認された場合、その場所では捕獲しない。



(3) 調査結果に基づき、日を決めて捕獲

① 捕獲日を決めるメリット

- ・ 捕獲者の(農作業等) スケジュール調整が可能。
- ・ 運搬、解体、処分作業の 協力者を確保しやすい。
- ・ 複数人で イベント的な開催が可能。
- ・ 誘引期間が限定的で、餌付けによる 環境負荷が小さい。
- ・ わな設置が短期間のため、錯誤捕獲や安全管理上の懸念が少ない。

一般客が多い自然公園内でも、くりわなの使用が許可されやすい。

② 効率的な捕獲方法を選んで捕獲

【小林式誘引捕獲】



林野庁の小林氏が開発したシカ捕獲法。石をサークル状に設置し、周囲にエサを置いて、足で踏む場所にくくりわなを設置する。

【誘引誘導型捕獲法】



岐阜大学が開発した捕獲方法。丸太等で経路を制限し、丸太上にエサを置いて踏む場所にくくりわなを設置する。

【からまる棒】



愛知県農業総合試験場が開発した捕獲補助具。立ち木が無い草地にくくりわなを設置することができ、安全に止め刺しができる。

【夏山式誘引捕獲】



誘引エサの周りに跨木（またぎ）と寄木（よせぎ）で足を置く場所を誘導し、複数のくくりわなを設置する。

5 イノシシの捕獲

誘引捕獲はシカに適した技術であり、イノシシではくくりわなに気付いて掘り返してしまうことがあります。

イノシシが誘引されている場合は、**けもの道から誘引場所への通り道（かよい）**にくくりわなを仕掛けると良いでしょう。

なお、箱わなで捕獲する場合でも、「エサで誘引して捕獲日前日にロックを外す」といったように、「なつやまメソッド」のスケジューリングの考え方は有効です。



●お問い合わせについて

愛知県農業水産局 農政部 農業振興課 野生イノシシ対策室

所在地：〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話：052-954-6726(ダイヤルイン) FAX：052-954-6008

2024年2月発行